

## クスノキの保護について

【ご意見・ご要望】(投稿日:2024年3月19日)

3月18日の午後、時計台前を通りかかった際に、何者かによってクスノキの外周に杭を打ち、ロープが張ってある様子を見掛けました。

q1.クスノキは、校章に掲げられているように京都大学の象徴であり、同スペースが京大関係者の憩いの場であることは言うまでもありません。そのことをよく理解されている京都大学の事務の方々が建設されていることはないかと存じますが、この杭・ロープを設置した者を把握されていますでしょうか(京都大学が設置した者でないでしょうかから、直ちに撤去頂きたく存じます)。

q2.万一京都大学がこの杭・ロープを設置しているのであれば、その理由は何でしょうか。お答え願います。

q3.前問につき、私が考える以下の理由からすると直ちに杭・ロープを撤去すべきであると考えます。適切な対処を望みます。

1)クスノキの保護が目的で設置した場合(クスノキ周囲が危険であるなど)

クスノキは言うまでもなく樹木です。樹木は根を張っています。見る限りかなり外側に杭が打たれていますが、それでも、樹木の健全な成育に影響を及ぼす可能性は否定できません。本当にクスノキの保全を図るのであれば、よくよくクスノキの状態を確認し、どのように保全するのか当事者たる学生・教職員がよく理解している状態になってから行われるべきで、あまりに軽率であると思います。また、応急処置だと善解しても画一的な対処で、雑と言わざるを得ません。

2)学生らがクスノキ周辺に立ち入ることを防ぐ目的である場合

大学もよく承知されているとおり、クスノキは京都大学の象徴であり、クスノキとそれを取り囲む広場全体は京都大学の憩いの場であり、クスノキ周辺で学生が寛いだり、サークル活動に使えることそのものが京都大学にとって大きな資産です。なればこそ、クスノキ周辺に学生が集まれる状態であることは、まさしく京都大学を象徴する状態であると言えます。クスノキ周辺に立ち入られると管理上迷惑だともお思いかもしれませんが、学生、その他京都大学の構成員、関係者のためのスペースに対する管理の在り方はあくまで事後的対処が基本であり、予防的規制は最小限に抑えるべきであります。

以上、京都大学の象徴の危機を目の当たりにして質問する次第です。

【回答】(回答日:2024年4月19日)

(回答部署:施設部プロパティ運用課)

q1.クスノキは、校章に掲げられているように京都大学の象徴であり、同スペースが京大関係者の憩いの場であることは言うまでもありません。そのことをよく理解されている京都大学の事務の方々が建設されていることはないかと存じますが、この杭・ロープを設置した者を把握されていますでしょうか(京都大学が設置した者でないでしょうかから、直ちに撤去頂きたく存じます)。

a1.京都大学として設置しています。

q2.万一京都大学がこの杭・ロープを設置しているのであれば、その理由は何でしょうか。お答え願います。

a2. 貴重な資産であるクスノキの保護が目的です。

q3.前問につき、私が考える以下の理由からすると直ちに杭・ロープを撤去すべきであると考えます。適切な対処を望みます。

1)クスノキの保護が目的で設置した場合(クスノキ周囲が危険であるなど)

クスノキは言うまでもなく樹木です。樹木は根を張っています。見る限りかなり外側に杭が打たれていますが、それでも、樹木の健全な育成に影響を及ぼす可能性は否定できません。本来にクスノキの保全を図るのであれば、よくよくクスノキの状態を確認し、どのように保全するのが当事者たる学生・教職員がよく理解している状態になってから行われるべきで、あまりに軽率であると思います。また、応急処置だと善解しても画一的な対処で、雑と言わざるを得ません。

2)学生らがクスノキ周辺に立ち入ることを防ぐ目的である場合

大学もよく承知されているとおり、クスノキは京都大学の象徴であり、クスノキとそれを取り囲む広場全体は京都大学の憩いの場であり、クスノキ周辺で学生が寛いだり、サークル活動に使えることそのものが京都大学にとって大きな資産です。なればこそ、クスノキ周辺に学生が集まれる状態であることは、まさしく京都大学を象徴する状態であると言えます。クスノキ周辺に立ち入られると管理上迷惑だともお思いかもしれませんが、学生、その他京都大学の構成員、関係者のためのスペースに対する管理の在り方はあくまで事後的対処が基本であり、予防的規制は最小限に抑えるべきであります。

a3. 設置目的はクスノキの育成保護です。具体的には、踏圧による土壌硬化を防ぎ土中の通気性を確保するためです。なお、当対策以外にも肥料入れ、害虫駆除、整枝・剪定、コケ等の除去等の対策を計画的に講じています。

クスノキ周辺(木製ベンチやその周り)については憩いの場であることは、これまでどおり何ら変わるものではありません。ご理解ください。